

総務民生常任委員会報告

委員長 山本 光晴

実施日 10月25日(月)

「23年度当初予算の編成について」

予算編成の基本方針は、「あるお金で予算を組む」「次の世代に負担を先送りしない」という姿勢を堅持し、責任ある行財政運営に努めていくことである。

予算編成の基本的事項と事業計画調査フローにより予算編成の概略について調査研究をおこない23年度当初予算の総務民生に関連する項目について質疑を行いました。

学校教育特別委員会報告

委員長 八木 修

10月29日篠山市へ視察

篠山きらめき教育プランに基づく、学校統廃合の進め方について視察を行った。篠山市は21年3月に学校の適正規模、適正配置の具体案を示しが、その進め方は「地域の実情に考慮し、児童生徒数や学級数の将来推計、学校の小規模化に伴う課題等について保護者・地域住民の意見を聞きながら、保護者や地域住民の機運が自主的に醸成され、学校統合に向けたおおかたの合意が得られた地域から実施する」としています。

プランに沿って21年度は、東城地区3校(日置小・後川小・雲部小)の統廃合について地区の保護者や地域住民で協議がなされ、22年度には雲部小を東城小学校と改め開校しています。しかしその間27人で準備委員会づくり、81項目の調整を4部会で延べ60回も開催していました。行政はオブザーバーでの参加でした。

能勢町での進め方と違い、地域の自主性を尊重し進めれば事がスムーズに進むことを学びました。

12月20日

申し入れのあった各地区やPTAでの説明会が終了したので、その内容の説明を聞き、今後の進め方を確認しました。

説明会での質問内容等はこれまでの校区説明会と変わりなく、「ほとんどが学校再編には反対の意見で、今後も理解頂くよう努める」とこれまでと同じ答弁でした。

また新年度予算に設計費の計上は、大阪府との調整中とのことですが、町長は何とか予算化したい思いを述べていました。

議会改革特別委員会報告

委員長 谷 義樹

検討結果 (9月29日・10月27日・11月26日)

1. 議員定数について

議員定数の削減については、意見は出尽くしたという判断で、議員提案という形で、3月議会で結論を出すことになりました。

2. 一般質問を会期の最初にしたことについて

従来議会日程の終盤に実施していた一般質問を、9月議会から日程の最初にもっていきました。全体として評価する意見が多く、1年間の試行を継続することが決まりました。

3. 議員の非常勤委員報酬の受領について

議員の非常勤委員の報酬については、監査委員を除き、議会より選出の場合は、受領を辞退することになりました。

現行のままで辞退した場合は寄付行為になるため、関係条例の改正手続きを経て正式に決定します。

4. 本会議での一問一答方式について

9月議会の決算認定について、委員会に付託し徹底審議をしてはどうかという意見が出ています。

審議を充実させるためには本会議の質問形式を、一問一答方式にするというのも一つの方法です。

具体については、議会運営委員長にたたき台を出してもらい、検討を進めていくことになりました。